

平成24年度事業計画

I 基本要領

1. 役員

理事 14人（理事長、副理事長、常務理事含む）

監事 2人

2. 評議員 15人

II 事業方針

【法人運営】

設立以来22年を経過した当財団は、今年3月、公益法人制度改革関連3法案に基づく「公益法人」として、京都府から認可する旨報告を受けました。

この改革は、国の内外における社会経済情勢の変化と多様化する要望に即応するため、民間団体が自発的に公益事業を実施し、公益の増進をとおして活力ある社会の担い手となることが目的です。

今年4月1日から当財団は、「公益財団法人」として新たなスタートを切ります。

これを機にこれまでの生涯学習事業と施設管理を“公益”の観点から今一度検証し、新亀岡市生涯学習推進基本計画（平成22年度から10年計画）を基本に、行政と連携するなかで民間活力を十分に発揮し、『生涯学習都市宣言』にふさわしい資質を備え、市民の福祉向上に寄与していくため、各種事業を進めていきます。

【生涯学習事業】

生涯学習事業では、市民の学習意欲に応えられるよう、“始めるきっかけの場”を多彩に提供していきます。その中心に、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、生涯学習市民大学、丹波学トーク）を据え、さらに市民の要望に沿った多彩な自主事業も加えて、充実発展させていきます。さらに、平成22年度に京都学園大学との協働講座「市民講演会」、平成23年度に「市民コンサート」など新たな事業を創設しましたが、本年度は、市民のあいだにこれらが確実に定着することを目標に実施していきます。

本市生涯学習施策の特長の一つは、“循環型生涯学習”です。その一助として当財団は、生涯学習に関する様々な分野において指導・相談などを行う講師登録とし

て、「人材バンク制度」を運営しています。制度施行以来5年目を迎え、さらに生涯学習推進の原動力となるよう運営目標を掲げ普及を図ります。

もう一つの特長は、“協働”による生涯学習です。亀岡市の「まちづくり協働推進実施計画」に沿い、自主的な学習活動や成果発表が促進できるよう「生涯学習事業助成金制度」の効果的運用と、当館3階の「かめおか市民活動推進センター」の支援により、市民の自主的な公益活動を応援します。

この他、平成23年度末での財団法人亀岡市交流活動センターの解散を受けて、語学講座（中国語6コース）と国際交流事業（国際理解学習交流会など）を引き継ぎ、当財団として新たな事業として取り組んでいきます。

【施設運営管理】

次に、施設管理事業です。施設の管理・運営は、亀岡市から指定管理者として平成18年度から委託を受けています。利用者は年々増加しており、「道の駅」としての位置付けを最大限有効活用し、全国へ施設の素晴らしさを発信していきます。

また、今年度は指定管理者2期目（平成21年度～24年度）の最終年度となります。施設運営については、竣工以来13年が経過し、年々修繕費や消耗什器備品費が増大してきていますが、効率的な運用と行政との強い連携で、利用者が安全・安心・快適を実感していただけるよう最善の設備とサービスを提供していきます。

なお、当財団は亀岡市の生涯学習事業と「ガレリアかめおか」の施設運営・管理を一体的に行うことに精通している唯一の民間団体であり、市民にとって一番有益であると自負しており、次期指定管理者として指定されるよう、亀岡市へ要望していきます。

事業方針を達成するため、平成24年度の事業計画に基づき、各種事業の計画的、積極的な執行に取り組みます。

1. 生涯学習文化振興事業

財団の生涯学習推進につきましては、市民の生きがいを育むため、各人の自発的意思に基づく学習活動がより活発に、より幅広く活動がなされるよう努めているところです。

生涯学習に関する優れた技能や知識を持った方々を、広く生涯学習者に紹介する「ガレリアかめおか人材バンク」は、効果的な広報活動を通じて、市民活用を一層広め、生涯学習の成果が次の学習者や地域に反映される循環型生涯学習の構築に向け、より積極的に取り組めます。

また、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、市民大学）をはじめ、いきいき亀岡ライフUPセミナー、先人に学ぶガレリアフォーラムなどの講演会や講座、市民の生涯学習活動に対する助成・後援、かめおか市民活動推進

センターのサポートなどを行うとともに、内容の充実に取り組みます。

本年度から、当財団に移管された国際交流事業及び中国語講座を、諸外国の文化や伝統を学び理解を深める生涯学習事業として新たに取り組みます。

さらに、市民との協働で生涯学習のまちづくりを進めてゆくため、情報誌（マナビアン、ガレリアニュース）やホームページなどを通じ情報提供に努めて行きます。

市民への効果的な情報発信や事業参加者の増加等を図るため、先進地との情報交換や交流により、調査研究を行います。

京都学園大学が保有する知的資源を活用した、京都学園大学との協働事業「市民講演会」や、技術力のある市内の音楽団体による「市民コンサート」などを積極的に展開し、多様化、高度化が進む市民ニーズに応えます。

実施計画は別表のとおり

2. 生涯学習施設の管理運営事業

亀岡市から指定をうけた生涯学習施設の管理運営業務を、より効果的・効率的に行います。

- (1) 「ガレリアかめおか」情報交歓施設（ロビーギャラリー等）、学習活動施設（陶芸室、工作室、創作室、料理実習室、研究室、市民団体情報提供室、大広間、会議室、研修室、和室研修室等）、情報提供発信施設（企画展示室、石門心学塾等）、新産業振興施設（コンベンションホール、響ホール等）、エイジレスセンター、憩いと観光情報施設の管理運営業務。
- (2) 「ガレリアかめおか」の使用許可申請受理、使用許可、使用取消に関する業務。
- (3) 「ガレリアかめおか条例」及び「ガレリアかめおか条例施行規則」等に基づく「ガレリアかめおか」の利用料金徴収及び減免に関する業務。
- (4) 「ガレリアかめおか」の施設、付帯設備及び物品の維持管理に関する業務。
- (5) 「ガレリアかめおか」の防火管理業務及び消防計画の作成。
- (6) その他、亀岡市が特に必要と認める業務。

平成24年度事業計画

1. 生涯学習に関する情報サービスと広報

事業名	事業内容
情報誌 Manabianの発行	生涯学習振興・推進と財団事業の理解促進のため、市民に生涯学習情報や「ガレリアかめおか」の施設情報を提供する。(年1回)
ガレリアニュースの発行	「ガレリアかめおか」からの月刊紙として、施設の利用促進をはじめ、生涯学習団体・サークルなどの活動及び生涯学習事業の内容を広く紹介するとともに、亀岡市広報紙との連携を図り、効果的な情報発信を行う。また、市外からの事業参加促進やガレリア施設の利用拡大を図るため、昨年を引き続き、南丹市の園部町・八木町地域へも新聞折込を行う。
財団ホームページ	見やすく多様な機能に整備したホームページを通じて、市民のニーズに応える魅力的な情報を適時に発信する。
各種広告掲載	新聞などあらゆる広報媒体を活用し、また、協力を得て、生涯学習関係の効果的な広報活動を展開する。

2. 自発的生涯学習活動の積極的援助と促進

事業名	事業内容
生涯学習関連事業の開催相談及び講師紹介、派遣	「ガレリアかめおか人材バンク」に登録された指導者の情報を広くまた多面的に広報し、指導者の派遣を積極的に進める。また、市民や各種団体の生涯学習関連活動に対し、積極的なサポートを行う。
生涯学習活動への助成	「生涯学習事業助成要項」に基づき、亀岡市の生涯学習振興に寄与すると判断される自主的な生涯学習活動に対して助成する。
かめおか市民活動推進センターの支援	「かめおか市民活動推進センター」が、中間支援機関としてその能力が発揮できるよう、併設されている「京都府南丹パートナーシップセンター」と密接に連携し、支援を行う。
各種事業への後援	市民・企業・団体などが実施される各種事業、競技会などで、生涯学習の促進に効果的と思われるものについて、積極的に後援する。

3. 生涯学習振興・推進のための調査・研究活動

事業名	事業内容
生涯学習推進のための調査・研究	グローバルな視野や市民協働の視点を持ち、先進地や各種関係機関との情報交換・交流を積極的に行い、生涯学習を一層進展させるため調査・研究を行う。

4. 財団主催生涯学習機会提供事業

事業区分	事業名	事業内容
文化芸術事業	コンサートの開催	芸術を通して生涯学習の推進を図るため、コンサートを企画・開催し、芸術鑑賞の機会や人の交流の場を提供する。
	ガレリアシネマ&ライブ	市民要望を積極的に取り入れた、魅力あるコンサートを開催。また、芸術性があり、市民が親しみ楽しめる映画を上映する。

事業区分	事業名	事業内容
文化芸術事業	ガレリア市民コンサート	亀岡市内で活動し、技術力のあるアマチュア音楽グループに発表の機会を提供し、また鑑賞の機会を市民に提供する。
	若い芸術家の発掘と育成 (サンデーブチコンサート)	若い芸術家の発掘・育成の場と、亀岡の独自文化を創造するきっかけづくりとしてオープンスペースを利用して実施する。
	オカリナプロジェクト	オカリナ製作、演奏により陶芸・音楽を通じて、市民オカリナ演奏団の拡大を図る。また、素朴な響きを持つオカリナ音楽を市民に広め、人や自然にやさしいまちづくりに寄与する。
	亀岡市民文化祭 亀岡市美術展	住民主体の運営により文化芸術の振興を図り、豊かな人間性の形成とふれあいの輪を広げることを目的として実施する。
講演会 定期講座 自主事業	コレージュ・ド・カメオカ	生涯学習都市亀岡のシンボル講座として、国内外から著名な講師を招いて講演会を実施する。
	～ダイナミックかめおか～丹波学トーク	様々な角度から、講師と参加者が一体となって郷土の歴史や文化などの貴重な資源を学び、探求し、地域を越えて広い視野からの丹波学を確立していく。また、大学等の教育機関との連携も積極的に行い、講演記録を随時作成する。
	亀岡生涯学習市民大学	市民が企画から運営までを行う自立した市民大学として、当財団は事務局として携わる。 運営委員会へのより積極的な市民参画を図り、その経験・知識・技術を結集し、市民ニーズを的確に反映できる体制を整える。聴講者へは新たな発見・感動の生涯学習の場となる市民大学の展開を図る。
	先人に学ぶガレリアフォーラム	本市で生誕もしくは“ゆかり”のある人物をテーマとした「先人に学ぶガレリアフォーラム」を展開。その活動や内容を探求、顕彰し、亀岡市における生涯学習活動の推進と情報発信を行うとともに「ガレリアかめおか」を中心として、継続性のある事業展開を行う。
	いきいき亀岡ライフUPセミナー	少子高齢社会において、健康でより豊かな意義のある生きがいを探求する講座。「食生活」「運動」「休養」等適時性のあるテーマを設定し、健康増進、生活習慣病予防や生活の安全確保、また生活安定のための将来設計などの講座を開催する。
	市民講演会	亀岡市内唯一の総合大学である京都学園大学と協働し、同大学が持つ豊富な知的資源を活用して、講演会を実施する。
	自主事業講座	多様な機能を備える工房を中心として、地域素材を活用した講座や、市民から要望の高い講座などを実施する。
	中国語講座	中国語の学習を通じて、近年世界的に注目されている中国の文化理解を深めるとともに、アジアの文化についての関心も高める機会とする。
	梅岩塾・マルチメディアコーナーの活用事業等	高度情報化社会における人材養成、高齢社会に対応した生きがいづくり、余暇時間を利用しての生涯学習などを目的として、パソコンの初心者基礎講座やセミナー等に利用する。
国際交流事業	交通手段やインターネットの発達により国際化が進む社会に対応するため、外国人との交流を進め、互いの文化を理解し、多民族が平和に共生できる社会の構築に寄与する。	

Ⅲ 予算計上の要旨

亀岡市から管理運営の指定を受けている「ギャラリーかめおか」を基盤に生涯学習に関する事業展開を図るとともに、施設の健全な維持管理運営を行うために必要な支出予算を計上する。

また、収入については亀岡市からの指定管理料収入、亀岡市補助金収入、本財団の基本財産運用収入、特定資産運用収入、事業収入及び施設利用料収入などをもって構成する。

1. 収入について

1 基本財産運用収入

基本財産5,000万円に対する運用利率を勘案して計上。

2 特定資産運用収入

退職給付引当資産に対する運用利息を勘案して計上。

3 事業収入

コンサート、シネマ&ライブなどの入場料収入。

梅岩塾を活用してのパソコン教室、オカリナ製作・演奏、各種講座事業などの受講料収入。

4 施設利用料収入

ギャラリーかめおか施設利用料収入（浴場利用料含む）

5 指定管理料収入

ギャラリーかめおか指定管理料収入

6 補助金収入

財団運営、事業に伴う市補助金収入

2. 支出について

1 財団管理費

財団事務局経費として計上。

2 ガalleryかめおか管理運営費

Galleryかめおかの施設管理にかかる経費として計上。

3 ガalleryかめおか事業費

財団が実施する事業にかかる経費として計上。

4 固定資産取得支出

什器備品購入支出として計上。

5 特定資産取得支出

財団職員の退職給付引当金として平成24年度分を計上。

平成24年度資金計画

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
内 訳	金 額	内 訳	金 額
基本財産運用収入	50	財団管理費	18,854
特定資産運用収入	105	ガレリアかめおか 管理運営費	287,528
事業収入	8,249	ガレリアかめおか 事業費	54,526
施設利用料収入	72,000	固定資産取得支出	300
指定管理料収入	212,137	特定資産取得支出	6,984
補助金等収入	70,497	予備費	0
寄附金収入	10		
雑収入	2,493		
前期繰越収支差額	2,651		
合 計	368,192	合 計	368,192
差 額			0